



発行者

諫早市立真城中学校

校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 九州大会出場 おめでとうございます！



7月26日（土）に、トランスコスモス競技場で行われた、県中総体陸上競技大会において、陸上部の鳥巢 君が棒高跳びで2位となりました。

上の写真のように、自己ベストの2m80cmを跳び、さらに高い3mに挑戦しましたが、惜しくもバーが落ちてしまいました。今回、県大会で2位を獲得したことで、8月9日（土）に鹿児島県で開催される九州大会へ出場することになります。九州大会でも自己ベストを更新し、県代表として活躍することを期待しています。鳥巢君、本当におめでとうございます！

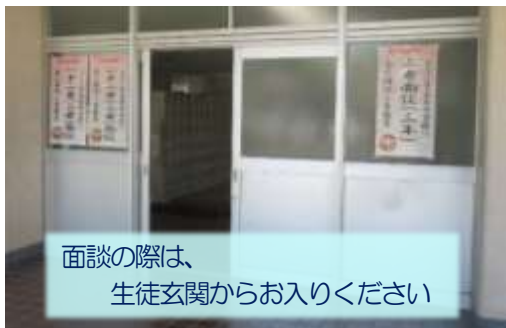
ちなみに、一般住宅の天井の高さは平均2m40cmだそうです。学校の教室の天井は3mが基準となっています。鳥巢君は、もう少しで教室の天井を超える高さまで跳ぶことができるということになります。

また、7月19・20日に行われた、県中総体水泳競技において、女子800m自由形で、黒木さんが4位入賞（11分57秒52）、女子100m背泳ぎで、川崎さんが、5位入賞（1分17秒25）という好成績でした。さらに、水泳部は6名もの選手が県大会に出場し大活躍でした。6名中1・2年生が4名もいます。今後の活躍も楽しみにしたいと思います。

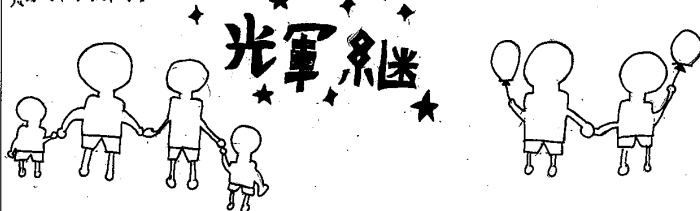
○ 三者面談・二者面談実施中です。

現在、3年生では三者面談、1・2年生では二者面談を実施しています。ご多用な中、ご来校いただきありがとうございます。短い時間ですが、充実した面談とし、お子さまの今後に生かせるようにしたいと考えています。

異常な暑さが続いています。本校の校舎は、東と西に窓が開校している関係で、廊下の温度が非常に高い状況です。面談場所だけでなく、控室もエアコンの入った教室等を確保しています。十分な水分等の準備をしてご来校いただきますようお願いいたします。



真城中学校より



今回の「輝継」のタイトルは、1年1組の小川くんの作品です。夏休みにたくさんの思い出をつくりたい！という気持ちが込められているように感じました。見る人の気持ちをホッとさせるタイトルだと感じました。小川君、ありがとうございました。

○ 備えあれば・・・。

7月26日（金）は、突然の大きな揺れに驚かされました。私は、市教委・市内学校とWeb会議中だったのですが、カメラ越しで相手側も揺れているのが伝わりました。会議を中断し、先生方と協議し、安全のため、部活動の中止と、面談については保護者の方のご意向を確認することとしました。急な対応でしたが、生徒たちも協力して動いてくれたので、スムーズに対応することができました。

今回の地震では、大きな被害が出ることはありませんでしたが、やはり「万への備え」が大事だということを再確認させられました。

なお、右の図は、九州北部の活断層を示したものです。大地震の原因となった断層が熊本付近にあります。長崎県にも、雲仙付近から断層が見られます。AIに質問してみたところ、



長崎県雲仙地域には活断層である雲仙断層群があり、地震発生危険性があります。特に、雲仙地溝南縁東部断層帯と西部断層帯が連動した場合、マグニチュード7.7の地震が発生し、広い範囲で震度5弱以上、一部地域では震度6強から7の揺れが予測されています。また、津波発生の可能性も考慮する必要があります。

という回答が返ってきました。諫早市でも震度6以上の可能性があるそうです。日本は、世界的にみても地震が発生する頻度が高い国です。自分たちの住んでいる土地について正しく知ることは、生命を守るうえで非常に大切なことだと改めて感じました。災害を正しく恐れて、今できる備えをしていきたいと思います。